

松原湖バイブルキャンプ

奉仕者ガイド

プログラムディレクター

2019年 作成



I. プログラムディレクターとは“責任者”

- ・ プログラムディレクター（以下「PD」）は、担当する主催キャンプの責任を持つ人です。
- ・ 通常、松原湖バイブルキャンプ委員会のメンバーがPDとなります。キャンプを導くのはリーダーたちですが、PDはそれを補佐し、安全かつ円滑にキャンプが進むように監督します。
- ・ リーダーたちの良きアドバイザー・理解者であることも、PDの大切な務めです。ただし、過干渉にならず、良い距離感をもって関わります。あくまでもプログラムを立て上げていくのはリーダーの役割です。

Ⅱ. PDの具体的な働き

1. キャンプ前にすること

①松原湖の理念やテーマなどをリーダーたちに伝える

- ・ 理念や年間テーマなど、キャンプの基本コンセプトを最初にリーダーたちに伝えます。何を大切にするのかを確認することで、軸のあるプログラムを作ることができます。

<松原湖バイブルキャンプの理念>

松原湖バイブルキャンプの存立の使命は 神が創られ支配される自然環境の中で、御言葉の養いとキリストを頭とした共同生活を通して、人々の救いと育成に務め、献身者を生み出すことにより、世界に広がる教会に仕え、神の栄光を表すことです。

②各ミーティングで話されていることを把握する

- ・ リーダーたちからミーティングの報告書を受けることによって（または必要に応じてPDもミーティングに参加することによって）、適切な準備や立案がなされているかを確認します。

③全体プログラムを確認する

- ・ 考えられたプログラムに必要なことが組み込まれているかを確認します。
- ・ 決定したところで、キャンプ場にもプログラムを伝えます。2ヶ月前くらいが理想。

④「スケジュールノート」を確認する

- ・ スケジュールノートとは、プログラムの時間や場所、各奉仕部門がどんな働きをするのかを時系列に記した資料です（これはリーダーたちが作成します。目安：1ヶ月前までに）。
- ・ PDはスケジュールノートを確認し、無理なく立案できているか、グラウンド、キッチン、オフィスの動きにも注意して、ワーカーが十分に対応できる内容となっているかをチェックします。必要な場合は調整を加えます。
- ・ たとえばこんなことにも注意します。

ゴスペルタイムまでにキャンパーが疲れてしまうようなプログラムになっていないか

食事関係（キッチンスタッフとの確認）

音出しの終了時間は適切か（近隣住民への配慮）

消灯時間は適切か（キャンパーの健康管理）

⑤用いられる賛美を確認する

- ・ 近年は様々な団体からオリジナルの賛美が生まれています。PDはリーダーたちの選曲にも目を通し、キャンプに相応しいと判断できる賛美が用いられるようにします。

⑥講師・キャンプ場との連絡をとる

- ・ 講師やキャンプ場側との報・連・相は、以前はリーダーがすべて担っていましたが、近年はPDが担当する割合が増えています（メンバーによることもあります）。
- ・ PDはリーダーと役割の確認をし、連絡が円滑にとれるように配慮します。
- ・ キャンプ場側との連絡は、奉仕者の確認、プログラムの連絡、使用キャビンの検討などです。

2. キャンプ中にすること

①みことばが適切に語られているか確認する

- ・ 講師によって、みことばが適切に語られ、イエス・キリストの十字架と復活の福音が十分に語られているかを確認します。
- ・ 講師と祈りの時をもちます。必要に応じて話し合い、必要な要素が語られるよう助言します。

（キャンプでは基本的に福音派の信頼できる講師を選定しますので、間違ったことが語られることは考え辛いと言えますが、もしそのような事態が起こった時にはPDが注意を促し、場合によっては外れていただくこともあります）

②キャンパーの状態を確認する

- ・ PDはキャンパーたちの霊的状态、身体的状態にいつも気を配ります。キャンパーたちが安全にプログラムを楽しむことができるよう注意しなければなりません。
- ・ ハケ岳の麓にある松原湖バイブルキャンプ場は、標高約1,200mの山中にあるため、プログラムがしばしば天候に左右されます。野外プログラムを悪天候の中で強行することのないように、キャンパーの健康状態を優先して、必要に応じて中止する決断をリーダーたちに促します。

③ミーティングに参加する

- ・ キャンプ中のカウンセラーミーティング、リーダーミーティングには全て参加し、話される内容をよく確認し、必要に応じて補足、アドバイスなどをします。

④リーダー・カウンセラーたちの霊的、肉体的状態を把握する

- ・ キャンプには主からの豊かな祝福があります。それと同時に、リーダーやカウンセラーは非常にエネルギーを使うことも事実です。PDは、彼らが適切な時間に睡眠をとるように促します。
- ・ リーダーたちが熱意のあまり飛ばしすぎたり、不要なところで力をかけ過ぎたりして、一番大切なキャンプの山場で“電池切れ”になることがないようにします。全体のペース配分です。
- ・ 奉仕者の中には、一人で悩み苦しむ人が時々出てきます。PDは、そのような人がいないかよく心を配り、話を聞き、祈り励まして、奉仕を最後まで喜んで行えるように関わります。

⑤フォローアップ報告書（教会への資料）をチェックする

- ・ 最終夜のPDの大事な務めです。カウンセラーがキャンパー一人ひとりについて書く言葉をチェックします（下書き→清書）。これはキャンパーの教会へ届けられる資料となります。
- ・ 近年は、PDが教会向けにキャンプ中の様子を記した資料も送り、好評をいただいています。

3. キャンプ後にすること

①キャンプを総括するミーティングをもつ

- ・ キャンプを振り返り、感謝と課題を確認するミーティングを持ちます。リーダーやカウンセラーたちを労い、恵みをともに数え、主を賛美してキャンプを締めくくります。

②キャンプ委員会で報告する

- ・ キャンプ後に開かれるキャンプ委員会で、各PDは担当したキャンプの報告をします。